

# ご挨拶

株式会社バルカー  
代表取締役会長CEO

瀧澤 利一



令和8年の新春にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

平素より本誌をご愛読いただいている読者の皆さまに、まずは心より御礼を申し上げます。

振り返れば去年は、世界の政治・経済が大きく揺らぎ、国際秩序の転換点ともいえる一年でした。米国新政権の発足に伴う内政・貿易政策の再編は、多国間協調よりも自国優先へ舵を切る潮流を一段と鮮明にし、ロシアによるウクライナ侵攻を始めとした各地の紛争は依然として収束の兆しを見せず、安全保障とエネルギー供給の不安定化が世界経済に影響を及ぼしています。国内においても企業を狙った高度なサイバー攻撃が相次ぎ、情報セキュリティー体制が身近な喫緊の経営課題として浮き彫りとなるなど、予測不能の未来が当たり前と感じる時代へと突入しています。

こうした先行き不透明な環境下においても、当社は中期経営計画「“New Frontier 2026”（NF2026）」の着実な推進に努めてまいりました。計画2年目となる2025年は、サプライチェーン改革の加速を最重要テーマと位置づけ、愛知県田原市の新工場では半導体向けふっ素樹脂ライニングタンクなどの製品生産を開始し、拡大が続くAI・半導体関連需要に応える体制を整備してまいりました。海外においてもベトナムの新拠点拡充を進め、2026年度の本格稼働以降は、ASEAN諸国を始め世界の成長市場へ高機能シール製品や機能樹脂製品を安定供給出来る体制を構築してまいります。更に、トルクシステム社を買収、当社グループに加え、AI/ITソリューション分野でのサービスの拡充と技術基盤強化を通して更なる価値創出を進めることといたしました。

当社グループは、2027年1月に創業100周年という大きな節目を迎えます。この節目は、これまで積み重ねてきたものを未来へ繋ぎ、次の100年に向けて未来を切り拓く起点でもあります。「THE VALQUA WAY」という変わらぬ理念をこれからも大切にし、昨年より本格始動したWell-Being経営と融合させ、継続的に価値創造を生み出す企業文化の構築をこれからも進めてまいります。劇的な環境変化の渦中にある今、社員一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、顧客の期待に真摯に応え、信頼を積み重ねていく。この連鎖が当社の企業価値、技術力を高め続ける原動力です。次の100年に向かって、自ら考え、意志を持って主体的に行動を起こす風土を更に磨き、ステークホルダーの皆さまと繋がり、互いの創造性を高めながら、社会の本質的課題に対して真に価値あるソリューションを提供してまいります。

結びに、皆さまの変わらぬご支援とご指導をお願い申し上げますとともに、本誌読者の皆さまの一層のご発展とご健勝を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。